

KANAGAWA SUBARU TOPICS

vol.02



このスイッチ…「何だっけ!？」

スバル車には、運転する方をアシストするため、オート機能が付いています。

現在、コンピュータをはじめとした制御技術の革新と相まって、オートの機能性は格段に向上しています。

今回は、きっと「使っていてよかった」と思えるいくつかのオート機能をご紹介します。

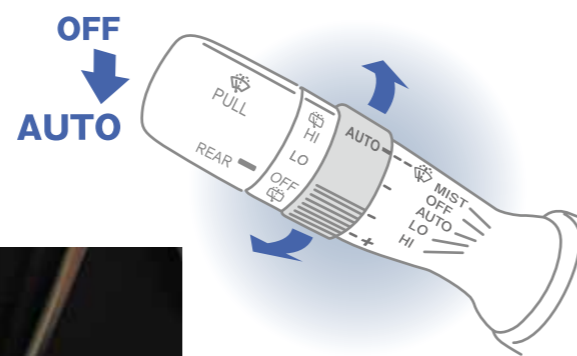
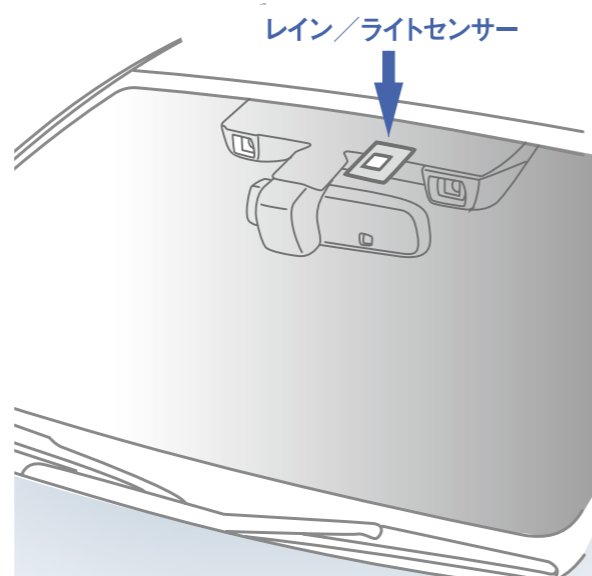
高感度のセンサーが おクルマのおかれた環境を検知し オート機能に反映

今回のモデル車には「レインライトセンサー」
(雨滴感知部/オートライトセンサー)が付いています。

フロントガラス上部の室内側にあるこのセンサーが、車外の状況を検知し、ワイパーを作動させたり、ライトを点灯させてくれるのです。いわばワイパーとライトのオート機能の心臓部。フロントガラスが汚れていたり、キズついていると、正確に機能しない場合もありますので定期的なチェックが必要です。

雨量に応じた作動で安心 オートワイパー

フロントガラス上部にあるセンサーで雨を検知するとワイパーを自動的に作動させるオートワイパー。急な雨など、ちょっと慌てがちな時にも役立つ機能です。自動なのは停止するときも同様でフロントガラスが乾いていればワイパーが作動することはなく、ワイパーブレードやフロントガラスの保護につながります。



レバーを1段押し下げると(オート(AUTO)位置)、雨滴量に応じてワイパーが作動。また、レバー中ほどにあるリングで雨滴量に反応するセンサーの感度の高/低を調節できます。

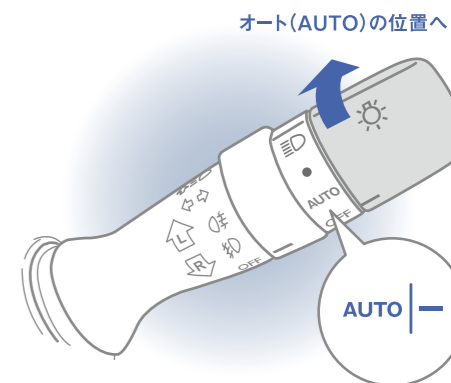
周囲の明るさに応じて点灯/消灯 オートライト

オートワイパーと同様にセンサーで状況を検知し、周囲の明るさに応じて各ランプが点灯または消灯する機能です。

車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号表示灯が自動的に点灯します。

夕方の薄暮時や、トンネル通過の際、ドキッとした経験はありませんか?

オート(AUTO)にしておけば点灯や消し忘れを防止できます。前方の視認性が向上するだけでなく、外部に自分の存在をアピールできるので安心です。



ハイビームで最大の視界を確保 ADB (アダプティブドライビングビーム)

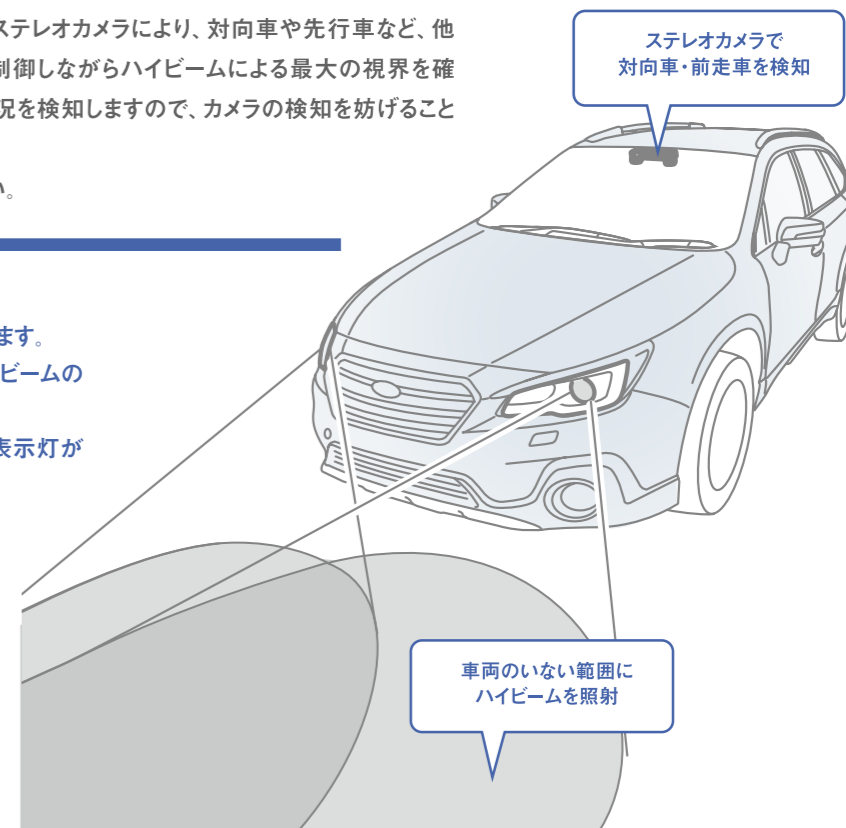
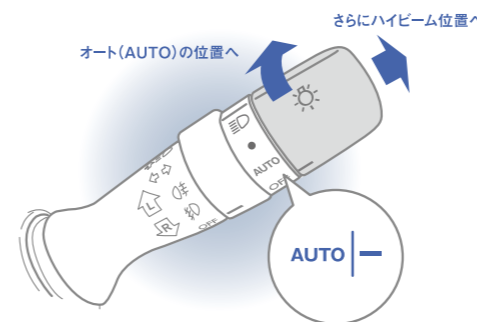
ADBは、フロントウィンドウ上部に取り付けられたステレオカメラにより、対向車や先行車など、他の車両を眩感しないように、自動的に照射範囲を制御しながらハイビームによる最大の視界を確保する機能です。EyeSightのステレオカメラで、状況を検知しますので、カメラの検知を妨げることがないようにご注意ください。

※注意の詳細は、「取扱説明書」を参照してください。

ADBの使いかた

- ライティングスイッチをオート(AUTO)の位置にします。
- ライティングスイッチのレバーを前方へ押し、ハイビームの位置にします。

※オートライトによってヘッドランプが点灯し、ADB表示灯が点灯すると機能がONになります。



すべては安心と愉しさのために。

オート機能には他にもオートエアコンや、オートロックなどたくさんあります。これはSUBARUが誕生して以来、一貫して行ってきた「人を中心としたクルマづくり」によるものです。オート機能を使用することで、ゲリラ豪雨など急な運転環境の変化にも慌てることなく、運転に集中できそうですね。オート機能は車種やグレードにより異なります。詳しくは車載の取扱説明書をお読みください。



※上記ご紹介の各機能は、モデルやオプションにより装着されていない場合もございます。詳しくは、おクルマの取扱説明書にてご確認ください。